



<https://www.daitoken.com/tokyo/>

第 249 号 2020 (令和 2) 年 11 月発行

目 次

1. 2020/2021 年度東京地域グループ第 2 回情報交換会のお知らせ----- 1
2. アンケート実施のお知らせ ----- 2
3. 2020/2021 年度東京地域グループ総会記録----- 2
4. 2020/2021 年度東京地域グループ新入会員紹介----- 3
5. 2020/2021 年度東京地域グループ運営委員会からのご挨拶 (1) ----- 4

2020/2021 年度東京地域グループ第 2 回情報交換会のお知らせ

コロナ禍により、なかなか対面で他機関の方とお話をする機会が設けられない昨今ではありますが、一方でこれまでの大学図書館の問題は依然として残り続けており、また、生活様式の変容に伴って新たな問題も発生し、情報交換の重要性は今まで以上に高まっています。そこで、この度、オンラインでの情報交換会を企画しました。是非この機会に、取り組みや工夫についてやり取りをしましょう！

日 程： 2021 年 1 月 11 日 (月・祝) 14:30-16:00 (14:15 受付開始)

会 場： オンライン開催 (Zoom) ※Zoom 接続 URL は後日メールにてご連絡いたします。

トクテーマ： 1. 「学芸大デジタル書架ギャラリー」について

2. そのほか、当日参加者の皆様が聞きたい・話したいこと

話題提供： 高橋 菜奈子 (たかはし ななこ) 氏 (東京学芸大学)

参 加： 大学図書館問題研究会会員であればどなたでもご参加頂けます (東京地域グループ以外のご所属の方も参加可能です)。大学図書館に関する情報交換の場としてご活用ください。お子様と一緒にのご参加や、聴講のみのご参加も歓迎いたします。情報交換会開催中の飲食・途中入退室も可能ですので、お気軽にご参加ください。

参加費…無料

申込先： 以下の申込フォームからお申し込みください。【申込〆切：1月9日(土)】

<https://forms.gle/CmVPA76zUzXvGWnR7>



問い合わせ先: tokyo@kaitoken.com (大学図書館問題研究会東京地域グループ) ※(at)は@に置き換えてください。

<トークテーマについて>

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言を受け、多くの大学図書館で臨時休館や開架スペースへの立ち入り制限が行われました。そのような中で公開された、ウェブサイト上で書架のブラウジングを提供する「学芸大デジタル書架ギャラリー」の取組について、東京学芸大学の高橋菜奈子氏より話題提供していただきます。

(参考)

・「学芸大デジタル書架ギャラリー」. 東京学芸大学附属図書館. <http://library.u-gakugei.ac.jp/mol/shoka/index.html>

・高橋菜奈子「『学芸大デジタル書架ギャラリー』の公開」『カレントアウェアネス-E』No.399 2020.10.01

<https://current.ndl.go.jp/e2306>

アンケート実施のお知らせ

よりよい地域グループ運営と、よりよいイベント開催のため、東京地域グループの会員の皆さまを対象として、アンケートを行います。是非、回答にご協力をお願いします(所要時間は5分ほどです)。

回答期間：2020年12月28日(月)まで

回答用 URL : <https://tinyurl.com/y7ov8myr>



2020/2021 年度東京地域グループ総会記録

1. 開催日時 2020年8月8日(土) 15:00-16:05

2. 開催場所 オンライン (Zoom 使用)

3. 出席者 青山, 安達, 石津, 上村, 黒澤, 小林, 下山, 高瀬, 立原, 南雲, 松原 (敬称略)

4. 配布資料

資料1: 大学図書館問題研究会東京地域グループ2020/2021 年度総会議案 (事前配布)

資料2: 2019/2020 年度決算案・2020/2021 年度予算案 (事前配布)

5. 議事進行 小林, 記録 立原

6. 議事

1. 審議事項

1) 第1号議案 活動総括, 決算報告・会計監査報告

担当委員より, 資料1に基づき2019/2020年度(2019年7月~2020年6月)の活動総括について報告があり, 承認された。

担当委員より, 資料2に基づき2019/2020年度決算について報告があり, 一部内容訂正のうえ, 承認された。

会計監査より, 2019/2020年度会計監査について報告があり, 承認された。

2) 第2号議案 活動方針, 予算案, 地域グループ運営委員会及び会計監査人について

立原 2019/2020 年度東京地域グループ代表より, 資料1に基づき2020/2021年度(2020年7月~2021年6月)の活動方針について説明があり, 承認された。

立原 2019/2020 年度東京地域グループ代表より, 資料2に基づき2020/2021年度予算案について説明があり, 承認された。

2020/2021 年度の地域グループ運営委員, 地域グループ代表, 全国委員, オブザーバー, 会計監査人について, 以下の通り承認された。(五十音順, 敬称略)

・運営委員

青山 史絵 (あおやま ふみえ, 東洋英和女学院大学)

安達 修介 (あだち しゅうすけ, 文部科学省)

下山 朋幸 (しもやま ともゆき) ※全国委員

高瀬 洋子 (たかせ ようこ, 専修大学)

立原 ゆり (たちはら ゆり, 東京大学) ※地域グループ代表

松原 恵 (まつばら めぐみ, 東京大学)

山口 友里子 (やまぐち ゆりこ, 一橋大学)

・オブザーバー

石津 朋之 (いしづ ともゆき, 筑波大学)

上村 順一 (うえむら じゅんいち, 国立情報学研究所)

澤木 恵 (さわき めぐみ, 東京海洋大学)

嶺井 尚子 (みねい なおこ, 東京海洋大学)

・会計監査人

下城 陽介 (しもじょう ようすけ)

南雲 知也 (なぐも ともや)

なお, 今後のオブザーバーの選出, 増員については運営委員会に一任することとなった。

2. 報告事項

特になし

2020/2021 年度東京地域グループ新入会員紹介

2020/2021 年度から、新規に東京地域グループの会員となられたお二方に自己紹介文をお寄せいただきました。

◆下城陽介さん 「いつもの空理空論（※1）」

最強の図書館員になるにはどうすれば良いのか？（※2）これが目下の問題である。この問題を解決するためには、最強の図書館員に出会って、技を盗むのが手取り早いと考えた。それが大図研に入った理由である（※3）。

さて、最強の目標も立ててみた。「学術情報を求める人に、早く確実に情報を届けるために、どうすればよいのかを考え、自分の業務の範囲（※4）で実践する」（※5）にした。どうすれば良いのか？ すべての情報を Web 上に秩序立てて置いておくのが、簡単そうだ（※6）。ここから私がいかに動き、打ちのめされ、それを乗り越えたか？ と続けようとしたところで、ああ、紙幅が！

この提案に関して私は真に驚くべき解決策を見つけたが、この余白はそれを書くには狭すぎる（※7）。

※1 「自己紹介を自由に書いておくれ」と依頼があったので、夢の話を書くことにしました。

※2 2020 年度は研修の運営に回ることが多かったため、自分ならどんな研修を受けたいかなあと考え、「みんなが最強になれば良いじゃん」という結論に至りました。

※3 と思っていたところに松原さんのお誘いがありました。あ…後付けの理由じゃ…ないよ。

※4 研修の企画とか、デジタルアーカイブの推進とか、広報誌の作成とか。目録とか ILL とかの図書館っぽいことはしていない……。

※5 上司に提出する評価シートみたいな文書に書いたものの意識。

※6 技術的には。制度的・金銭的には難しそうですね（著作権の壁）。

※7 フェルマーさんの言葉を拝借。

（東京大学）

◆嶺井尚子さん

皆様はじめまして。今期より入会致しました、東京海洋大学学術情報課の嶺井と申します。

ご縁あって4月から大学図書館で勤務しております。恥ずかしながら、大学図書館が現在進行形でどのような活動をしているのか、まず何から学んでいけばよいかかわからない状態で、お仕事を始めることとなりました。

そんな中、学生時代の先生や職場の方から大図研を勧めて頂き、今後働いていく上で何か役に立ちそうな情報が入手できたらなと入会致しました。今思えば軽い気持ちで入会してしまいましたが、新型コロナウイルスの影響で気分もモチベーションも下がり気味な中、定期的に情報を得ることができ、良い刺激になっております。

現在は機関リポジトリ関係のお仕事に携わらせて頂いておりますが、先輩方の足を引っ張りながら…目下勉強中の身です。

こちらで皆さまの経験や界隈の現況を学ばせていただきつつ、何か還元していけたらなと思っております。

どうぞよろしく申し上げます。

（東京海洋大学）

2020/2021 年度東京地域グループ運営委員からのご挨拶（1）

◆立原ゆり

昨年度に引き続き、東京地域グループの代表をさせていただくことになりました。なかなか直接は人に会いにくいご時世ですが、だからこそオンラインを通じて、たくさんの方に大図研の活動を知り、参加してもらえる機会を作っていけたらと思います。例会に参加すると、普段の職場では出会えない人と知り合ったり、他大学の事例や様々なアイデアを知ることができて、私自身、普段の業務にも役立つ知見やヒントをもらっていると感じます。今年度は会員同士による情報交換会も何回か計画していますので、ぜひお気軽にご参加ください。ご意見やご提案もお待ちしています！

（東京大学、東京地域グループ運営委員・代表）

◆山口友里子

東京開催のはずだった全国大会、完全オンライン開催となりましたが、東京地域グループの活動もしばらくはオンラインが主となることが予想されます。見学会などオンラインでの代替が難しいものもありますが、交流会やオンライン講演会はできるのではないかなあと企画中です。各々手探りが続いている状況かと思いますが、「困った時の大図研」として、気軽に質問&情報収集できる場としてご活用いただけたらうれしいです。

（一橋大学、東京地域グループ運営委員・副代表）

◆青山史絵

大図研に入会して今年で7年目になります。育児が一段落し、そろそろリカレントしたいと大学図書館職員長期研修に参加したところ、複数の魅力的な大図研メンバーがおり、仲間になりたくなくて研修終了後即入会。例会に当たり前のように参加していたら、東京地域グループの運営メンバーにと声をかけて頂き、そうこうしているうちに大図研事務局の組織担当も承り、そのお役も今年で3年目、楽しんでいるうちにどんどんつながって、困った時に相談できる知り合いも随分増えました。皆さんの周りにも一歩踏み出したいという方がいらっしやいませんか？ぜひ一緒に♪

（東洋英和女学院大学、東京地域グループ運営委員・会計担当）



『d-tokyo: 大学図書館問題研究会東京地域グループニュースレター』

第 249 号, 2020 年 11 月

事務局：〒272-0021 千葉県市川市八幡 3-14-27-202 上村順一 気付

東京地域グループメールアドレス：tokyo@daitoken.com

東京地域グループ運営委員会編集担当：安達修介

※ニュースレター電子化切替ご希望の方は、上記アドレスまでご連絡をください。

Google フォームからも申請できます。→

